

パン種のないパンの祭り (レビ記結晶の学び二)**I. レビ記第 23 章の祭りは、安息と享受のためであり、私たちの安息と享受としてのキリストを予表します:**

- A) 神が祭りを定めたのは、彼の民が彼と共に安息し、彼と共に喜ぶためであり、彼らが神と共に、また互いに、神が彼の贖われた民のために備えたすべてを享受するためでした。この安息と享受は、個人のものではなく、団体のものでした。

レビ 23:2 イスラエルの子たちに語って言いなさい、「あなたがたが召集聖会としてふれ示すエホバの定め祭りは次のとおりである。これらは私の定め祭りである。

3 六日間は仕事をしなければならない。しかし七日目は完全な安息の安息日であり、召集聖会を持つべきである。あなたがたは何の仕事もしてはならない。それは、あなたがたが住むすべての所で守るべきエホバへの安息日である」。

- B) エホバの定めた祭りは、召集聖会であって、特別で専一な目的のために召された神の民の特別な集まりでした。
- C) これらの召集聖会が表徴するのは、信者たちが召会として集まって、神の御前で、神と共に、互いに、キリストの団体的な安息と享受を持つということです。

II. 週ごとの祭りである安息日は、神の贖われた民が神と共に、また互いに享受する安息を表徴します。七日ごとに、安息と享受のための一日がありました:

- A) 安息日の原則は、私たちが自分の働きを停止すべきであるということです。なぜなら、神は私たちのためにすべてを行ない、私たちの享受のためにすべてとなったからです。

- B) 創世記によれば、安息日は神にとっては第七日ですが、人にとっては第一日です:

①この事の意義は、安息日は神にとっては働きの後の安息でしたが、人にとってはまず安息があり、それから働きがあったということです。

②神はまず六日間、働き、それから第七日に安息しました。人は彼の第一日に安息し、それから働き始めました。

③人の第一日が安息の日であることは、一つの神聖な原則を打ち立てました。それは、神はまず享受をもって私たちに供給し、それから私たちは彼と共に働くということです。

I コリント 15:10 しかし、神の恵みによって、今の私があるのです。そして私に対する神の恵みは、無駄にはなりません。それどころか、私は彼らのだれよりも多く労苦してきました。しかし、それは私ではなく、私と共にある神の恵みです。

II コリント 6:1 そして私たちは、神と共に働きながらあなたがたに懇請します。神の恵みは無駄に受けることがないようにしなさい。

- C) 安息日の原則は、創造において適用されるだけでなく、贖いにおいても適用されます。キリストの贖いの働きの結果は、安息日としてのキリストご自身です。
- D) 年ごとのすべての祭りの主要な意義は、神の民が神

と共に、また互いに安息を享受するということです:

①こういうわけで、安息が年ごとの七つの祭りの意義です。年ごとのすべての祭りは、週ごとの安息と同じように、一つの安息でした。

②週ごとの安息は、年ごとに神の民が神と共に聖なる祭りを守るための土台を据えます。

- E) 週ごとの安息日は、完全に厳粛な安息でした。この完全な安息が表徴するのは、神と共にある真の徹底的な安息であって、それは神の贖われた民が神と共に、また互いに享受するためです。

- F) この安息日、この安息は、「エホバへの」ものでした。これが表徴するのは、神の贖われた民が気づかる、神の喜びと享受のための安息です。

III. 年ごとの七つの祭りがありました:

レビ 23:4 あなたがたが定められた時にふれ示す、エホバの定め祭りは、召集聖会は次のとおりである。5 第一の月、その月の十四日の夕暮れは、エホバの過越である。

- A) 七は完全の数であり、それが表徴するのは、年ごとの七つの祭りが完全に神の豊富の中にあつたということです。

- B) キリストは、安息日と年ごとのすべての祭りの実際です。

IV. 過越の祭りは、一年の第一の月、すなわち、一連の時期の開始にあります:

- A) これが表徴するのは、私たちの贖いとしてのキリストが、神と共に神の救いを私たちが享受することの開始であるということです:

①過越の祭りは、神が彼の民のために定めた年ごとのすべての祭りの中の最初の祭りです。この過越の祭りが予表するのは、キリストが神に対する私たちの享受の開始であり、私たちのクリスチャン生活を開始させるということです。

②クリスチャン生活全体は、そのような祭りであるべきです。

- B) 過越の祭りという言葉には、過ぎ越すという意味が含まれています:

①これが表徴するのは、裁く神が、罪の中にある罪人である私たちを過ぎ越したということです。それは、私たちが彼を私たちの宴席として享受するためです。

②今日私たちは、贖う神ご自身であるこの宴席を持っています。また私たちは、彼を安息と喜びとして享受しています。

- C) 過越の祭りにおいて、キリストは過越の祭りの小羊であるだけでなく、過越の祭り全体でもあります:

I コリント 5:7 あなたがたは新しい練り粉のかたまりとなるために、古いパン種を一掃しなさい。あなたがたは確かに、パン種のない者です。というのは、私たちの過越であるキリストが、犠牲としてさげられたからです。

①神の永遠のエコノミーを完成するために、キリストは、法理的に彼の死を通して成就した完全な贖いにおいて、また有機的に彼の命によって成就した全体的な救いにおいて、過越の祭りです。

I コリント 5:8 ですから、古いパン種をもってではなく、また悪意と邪悪のパン種をもってでもなく、

純粋と真実であるパン種のないパンをもって、祭りを守ろうではありませんか。

② 私たちの過越の祭りとなるために、彼は十字架上でほふられました。それは、私たちが贖われて、神に和解させられるためでした。

③ キリストの贖いに基づいて、私たちは神の御前でキリストを祭りとして享受することができます：

a. この祭りにおいては、パン種があることは許されません。

b. 罪と贖うキリストとは、並存することができません。

D) 過越の祭りの宴席は、神の完全な贖いのしるしです。この完全な贖いは、神の選ばれた民を、彼ご自身に対する完全な享受の中へともたします。

E) 主の食卓は、これもまた一つの宴席ですが、過越の祭りを置き換え、継続します：

① 今日、召会生活の中で、私たちは新約の宴席に出席しています。しかし、この宴席は、来たるべき王国における宴席がやって来てはじめて完全に成就されます。

② 過越の祭りは、三つの段階からなる一つの宴席です。その三つの段階は、過越の祭りの宴席、主の食卓の宴席、王国における宴席です。

V. パン種のないパンの祭りが表徴するのは、罪のないキリストが、宴席となって、罪のない生活の中で私たちの享受になるということです：

レビ 23:6 この月の十五日は、エホバへのパン種のないパンの祭りである。七日間、あなたがたはパン種のないパンを食べなければならない。

7 最初の日に、あなたがたは召集聖会を持たなければならない。何の労働もしてはならない。

8 あなたがたは七日間、火によるささげ物をエホバに献ささげなければならない。七日目には召集聖会を持たなければならない。あなたがたは何の労働もしてはならない。

A) パン種のないパンの祭りは、過越の祭りのすぐ後に続くので、これら二つの祭りは一緒に考えるべきです。すなわち、前者(過越の祭り)は開始であり、後者(パン種のないパンの祭り)は継続でした。

B) パン種のないパンの祭りを守ることが予想するのは、キリストを罪のない命の供給として享受することを通して、罪のあるものすべてをきよめ去るということです：

① イスラエルの子たちには、パン種が見られてはなりません。これが表徴するのは、私たちが自分の自覚している罪を対処しなければならないということ、すなわち、あらわにされている罪、見える罪を対処しなければならないということです：

a. あらわにされている罪を対処することは、パン種のないパンの祭りを守ることです。

b. もし私たちが暴露されている罪を容認するなら、神の民の交わりの享受を失います。

② キリストは、私たちのパン種のないパンであり、私たちの純粋と真実である、罪のない命の供給であり、絶対に純粋で、混合がなく、実際に満ちています：

a. 罪を除き去る唯一の道は、パン種のないパン

によって表徴されるキリストを、十字架につけられ、復活した、罪のない命として日々食べることです。

b. パン種のないパンが表徴するのは、罪のないキリストが、彼の信者である私たちの中へと分与されて、パン種のない(罪のない)要素になるということです。キリストはパン種のないパンとして、霊的で神聖な食物であって、私たちをパン種のないものにします。

c. 私たちはキリストを、私たちの命、すなわち、パン種のない命、きよめる命として受け入れるとき、この命は私たちをきよめます。

ヨハネ 6:63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私があるがたに語った言葉は霊であり、命である。

③ キリストはパン種のないパンとして、私たちが純粋な召会生活をするためです：

a. 召会の中には、パン種はあるべきではありません。パン種は、聖書の中では、すべての消極的な事物、例えば、間違った教理や実行、悪い行ない、罪深い事物などを表徴します。

b. 私たちは、新しい練り粉のかたまり、すなわち新しい性質の信者たちから構成されている召会となる必要があります。

C) パン種のないパンの祭りが七日間続いたことは、私たちのクリスチャン生活のすべての期間を表徴します：

① 私たちのクリスチャン生活の期間は、パン種のないパンの祭り、すなわち、罪のない祭りです。

② 私たちはすでに罪から贖われました。今や、罪のない私たちの贖い主は、私たちの全生涯にわたる祭りです。

Ⅱコリント 5:21 神は罪を知らなかった方を、私たちに代わって罪とされました。それは、私たちが彼の中で神の義となるためです。

③ 私たちはクリスチャン生活のすべての期間を通して、安息を享受し、神を享受し、私たちの贖い主を享受しているべきです。

D) パン種のないパンの祭りの最初の日と最後の日に召集聖会を持って、何の労働もしないということが表徴するのは、私たちのクリスチャン生活の期間の最初の日から最後の日まで、私たちがキリストを団体的に享受して、人の労苦をしないということです。

E) 七日間(一つの全体的な期間)、火によるささげ物をエホバに献げることが表徴するのは、私たちがクリスチャン生活の全期間を通して、食物としてのキリストを絶えず神にささげることです：

① 主の食卓において私たちが全宇宙に向かって展覧するのは、一週間の中で毎日私たちがキリストを、私たちのパン種のないパンとして、罪のない私たちの命の供給として取り入れ、そして彼と共に食卓に来るということです。

② その時私たちは、私たちの食物として享受した方を、神の満足のために神にささげます。

ヨハネ 6:57 生ける父が私を遣わされ、私が父のゆえに生きているように、私を食べる者も、私のゆえに生きる。

経験①: 神聖な原則を認識し、まず神を享受し、その後主と共に働く

私たちが享受を得るまで、神が私たちに働くことを求めないのは、神聖な原則です。神はまず享受をもって私たちに供給します。

レビ 23:3 「しかし七日目は完全な安息の安息日であり、召集聖会を持つべきである。あなたがたは何の仕事もしてはならない。それは、あなたがたが住むすべての所で守るべきエホバへの安息日である」。

私たちは彼と共に、また彼に対して満ち満ちた享受を持った後、彼と共に働くことができます。もし私たちが、どのように神と共に享受を持つか、どのように神ご自身を享受するかを知らないなら、どのように彼と共に働くかを知りません。私たちは神の神聖な働きの中で、どのように神と一であるかを知りません。

そうです、私たちは神と共に、また神によってさえ働くべきです。しかし聖書が啓示することによれば、単に神と共に働くことでさえ十分ではありません。私たちは神の働きの中で神と一である必要があります。これは、私たちが神を享受することを必要とします。もし私たちがどのように神を享受し、神で満たされるかを知らないなら、どのように神と共に働くか、どのように彼の働きの中で彼と一であるかを知りません。

私たちはもっぱら主の達成の中へと入り、私たちの安息を持ちます。福音を受け入れることは、主が成し終えられた働きの中へと入ることです。それを安息日とし、あなたの安息とし、それを主と共に享受しなさい。しかしそれを享受した後、あなたは働く義務を担わなければなりません。私たちは享受の後、主の働きを行なうために、主に私たち自身をささげるべきです。

在職青年編

ビジネス・パーソンとしてあなたは、神の働きの原則をはっきりと理解してください。あなたは正しく働くために、まず享受しなければなりません。マレーシアの首相、マハティール氏は日本人の勤勉な性格を称賛しており、それが戦後の日本の復興に役立っていると指摘しています。日本人は非常に勤勉な国民性を持っており、それは日本人の強さでもあります。しかし日本語を話す兄弟姉妹は救われた後、神のために働くにはまず神を享受しなければならないことを認識してください。日本人は勤勉なので、享受しなくても奉仕をすることができます。しかしそのような奉仕は神に受け入れられる奉仕ではありません。

I コリント 15:10 しかし、神の恵みによって、今のわたしがあるのです。そしてわたしに対する神の恵みは、無駄にはなりません。それどころか、わたしは彼らのだれよりも多く労苦してきました。しかし、それはわたしではなく、わたしと共にある神の恵みです。

この原則に従うと、毎朝会社に行く前に主の御言葉を享受することはあなたが主と共に、主のために働く重要な秘訣です。ですから、一週間に三、四日でなく、七日毎朝少なくとも 10 分から 20 分主を享受してください。

朝ごとの復興のとき、御言葉の祈り読みを生きた方法で行ってください。リー兄弟は祈り読みする時、あなたの霊を活用し、

- i) 主の御名を呼ぶこと
- ii) 御言葉を短く繰り返して読むこと
- iii) 御言葉を応用して祈ること

を混ぜり合わせる必要があると言っておられます。あなたが霊を活用して主の御名を呼び、御言葉を繰り返して読む時、内側に小さな感覚があります。これがあなたに対して主が語りかけるレーマの言葉です。このレーマの言葉の感覚をすぐに祈りに変えることが応用の祈りです。この応用の祈りの時、主はあなたに命を供給します。

ヨハネ 6:63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私があなたがたに語った言葉は霊であり、命である。

祈り読みを形式的に行うのではなく、霊を活用して生き生きとした方法で行えば、あなたは主に触れ主を享受することができます。そうすれば享受の下で、あなたは正常に主の証しのために働くことができます。主を享受して働く時、あなたの日本人の勤勉な性格は主の復活の中でさらに引き上げられ、用いられるでしょう。ハレルヤ！ 神の働きの原則のゆえに、主に感謝し、賛美します！

祈り: 「おお主イエスよ、まずあなたを享受します。享受なしに働きたくありません。毎朝享受を与えてください。神の働きの原則に従って、働く前に享受を与えてください。

朝ごとの祈り読み時、レーマの言葉を私に語ってください。私はあなたに触れたいです。形式的な方法で行いたくありません。生き生きとした方法であなたに触れ、享受してから会社に行きます」。

経験②: 主の食卓は過ぎ越しの祭りの置き換えであり、王国の出現まで継続する

詩篇第 23 篇 5 節は、主は私たちの前に私たちの敵の前で宴席を用意されたと言っています。「敵」は、戦うことと苦難を受けることを示しますが、主は私たちの戦いを祭りにし、私たちの苦難を食卓にされます。

この祭りにおいて、主要な享受は、過越の小羊と、贖うためのその血、戦い歩くためのその肉、罪のない生活を表徴するパン種のないパンです。小羊の肉は有機的であり、血は法理的的です。血はイスラエルの子たちを法理的に贖い、小羊の肉は神の選民が食べて、有機的に養われ、強められてエジプトから歩いて出ることができるためです。キリストは今日、小羊であり、贖いのための彼の血があり、彼ご自身は私たちを強め、養うためであって、それは、私たちがエジプトから出て神の道を歩くことができるためです。

過越の祭りの宴席は旧約においては完全には成就されませんでした。主の食卓は、これもまた一つの宴席ですが、過越の祭りを置き換え、継続します。しかしこの新約の宴席でさえ完全には成就されていません。それは来たるべき王国において完全に成就されるでしょう。

もし私たちが聖書を注意深く読むなら、宴席は旧約と新約の両方について語られていることがわかるでしょう。この宴席は出エジプト記第12章において始まりました。そしてそれは主が彼の食卓でそれを置き換えたその夜までの十五世紀以上もの間続きました。今日、召会生活の中で、私たちは新約の宴席に出席しています。しかし、この宴席は、来たるべき王国における宴席がやって来てはじめて完全に成就されます。これは王国における宴席は、過越の祭りの宴席と主の食卓の宴席との両方の成就であることを意味します。

中高生編

詩 23:5 あなたは私の前に私の敵の前で、宴席を設け、私の頭に油を塗ってくださいます。私の杯は満ちあふれています。

FN「宴席を設け」：復活したキリストのさらに深く更に高い享受の中で、主は私たちの前に、私たちの敵の前で宴席（キリストと私たちの享受のための彼の豊富）を設けます。私たちが霊的な戦いに従事して敵を打ち破るなら、主の食卓で私たちの宴席としての主の豊富な享受を持つでしょう。

主はあなたの戦いを祭りにし、あなたの苦難を食卓にされます。過越の時、実はイスラエルの民はエジプトのパロ王との戦いのただ中におりました。主はその戦いの時に、過越の小羊の血と小羊の肉を与えました。小羊の血は神の裁きが過ぎ越されるためであり、小羊の肉はイスラエルの民を養い、力づけ、エジプトから出てこさせるためでした。

今日、中高生であるあなたも、霊的な戦いのただ中におり、パロ王で象徴されたサタンはあなたを召会生活から引き離し、この世、エジプトの中に、とどめるように全力を尽くしています。例えば、サタンはLINEやYouTubeなどを用いて、夜通しそれに熱中させます。LINEやYouTube自体が悪いわけではないのですが（そのコンテンツのあるものは非常に堕落しています）、寝る時間に寝ないと主日の朝の集会や学校の授業に重大な支障をきたします。

あなたは学校生活の中で、小羊の血と肉にあずかってください。自分の罪を告白しイエスの血を適用して、清められる必要があります。さらに小羊の肉であるキリストを食べて養われ、強められる必要があります。

主日のパンさき集会は、極めて重要な集会です。イスラエルの民にとって過越の祭りは、極めて重要な祭りでした。パンさきの集会は、過越の祭りの継続であり、置き換えです。

ルカ 22:19 それから、イエスはパンを取って感謝をささげ、それをさいて彼らに与え、言われた、「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念にこれを行ないなさい」。

20 彼らが食事をした後、杯も同じようにして言われた、「この杯は、あなたがたのために注ぎ出される、わたしの血によって立てられた新しい契約である。

パンさきのパンとぶどう酒が分離しているのは、主

が十字架上で贖いの血を流されたことを示しています。ハレルヤ！罪のない主が、罪を犯したあなたのために身代わりに死なれました。これはなんと驚くべきことでしょう！

さらに贖いを通してあなたは、神を命の供給として享受することができます。このことのゆえにあなたは、キリストのからだの肢体となりました。ですから、パンは第一義的にキリストの個人のからだを示し、第二義的にキリストの奥義的なからだ、召会を示しています。パンは多くの麦粒がブレンジングされて、一つのパンになっています。召会も多くの兄弟姉妹、日本語の兄弟姉妹、中国語の兄弟姉妹、韓国語の兄弟姉妹、アフリカからの兄弟姉妹など、様々な国々の人々が信仰の中で結び合わされ、一人の新しい人となります。

ですから、パンさき集会はキリストの血、キリストの命の供給、キリストのからだの建造を含んでおり、信者たちはこの集会を主が再来され王国がもたらされるまで、毎週主日に行います。週の初めに、パンさきの集会に参加して主を記念し、享受することは、あなたの学校生活が祝福されるための基礎となるでしょう。

祈り：「おお主イエスよ、私には受験勉強や友人関係を正しく保つための霊的な戦いがあります。しかし、あなたは私の戦いを祭りにし、私の苦難を食卓にしてください。感謝します。私は戦いの中で、兄弟姉妹と共にあなたを享受します。私はからだの中であなたを享受して、神の敵サタンに敵対し、戦います。LINEやYouTubeに捕らわれることなく、早く寝て、早く起き、集会や学校に行きます。

罪のない主が、私の代わりに死なれたことを感謝します。毎週のパンさき集会に参加して、あなたの血に感謝し、あなたを命の供給として享受できますように。言語、文化に関係なく、皆で共にあなたにあずかり、一人の新しい人を建造します。ハレルヤ！」。

詩補充 207 キリストを享受する—食物と飲み物として

- いのちの木として かみは御子あとう。
だれでも一あじわえ、しよくすによし！
しよくによし！ しよくすによし！
あじわい—あかしす、しよくすによし！
- 主は宴せきもうけ、われはしよくし生く。
宴せきの—しよくもつ、みな主ご自身。
イエス、われらの しんの宴せき。
霊にてイエースしよくし、われ生かさる。
- キリストは糧しよく、われらのパン、にく。
いのちの一きようきゆう、日ごとしよくす。
日々、主を食べ、日々かてとし、
いのちの一きようきゆう、日ごとしよくす。
- たのしいえんせき、ゆたかさあふれる。
みな来て—しよくせと、かみ言われる。
来たりしよくせ、えん慮せず、
みな来て—しよくせと、かみ言われる。